

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

日本共産党3議席獲得 原発STOP くらし第一 市民にあたたかい松江市を



当選証書を受け取り決意新たに



ご報告と決意表明を行う たちばな市議、樋野、佐野両氏、むらほ氏、亀谷参院予定候補、尾村としなり県議、舟木市議ら

ましかどから選挙結果ご報告 次は参議院選挙

松江市長選・市議選が投票日(20日)に達した翌21日、市長選で健闘した日本共産党公認・県副委員長の村穂江利子氏(56)と、定数が3議席減の31となるなか現有2から1議席増を果たした現職の、たちばなふみ市議、新人の佐野みどり氏、樋野伸一氏の三氏が、尾村利成県議、亀谷ゆう子参院鳥取・島根選挙区候補とともに街頭から決意を述べました。村穂氏は「物価高から市民の暮らしを支え、危険な島根原発を止めるために力を尽くします」と訴えました。

たちばな市議は「3議席を得ることができました。市民のくらし、福祉に目を向けてほしい、原発ストップへの期待だ。市民の皆さんと一緒に原発ノー、ジェンダー平等、子どもの権利守れの声を松江からあげていきますよう。3議席の力でがんばります」。

樋野氏は「福島原発の現状を市政の場で発信していく。原発ゼロ、給食費ゼロ、高校医療費無料めざす」。佐野氏は、「医療介護職場の待遇改善は待ったなしだ。公約実現へがんばる」と決意を述べました。亀谷氏は「軍事費を削り、暮らしや福祉、教育を良くする政治に変えよう」と呼びかけ、尾村氏は「新しい3人の市議団と力を合わせ、原発のない安全・安心の松江をめざします。今度は夏の参院選での党躍進へ力を貸してほしい」と呼びかけました。今期で勇退する舟木健治市議が参加しました。

松江市議選6465票で3議席



2期目の当選、よろこびにわくたちばな事務所



激しい選挙戦を勝ち抜き喜びにわく樋野事務所



むらほ市長候補、大平元衆院議員と共に訴える佐野氏



たちばな ふみ
2期目当選
2484票
(14位)



佐野みどり
初当選
2107票
(19位)



ひの伸一
初当選
1874票
(25位)